

歴史総合、世界史探究

【I】「歴史総合」の授業で、「植民地と民族自決」をテーマとした授業が行われた。青木さんと馬場さんは授業で学習したことを振り返っている。次の会話文を読み、設問に答えなさい。

青木：まず、植民地の解放までの流れのなかでは、「民族自決」という原則が重要になる。民族自決というのは、ある民族が他の民族や国家の干渉を受けることなく、自らの意思で政治の在り方を決めることだね。

馬場：この考え方が最初に示されたのは、1917年で、ロシアのレーニンが「平和に関する布告」によって、第一次世界大戦の交戦国に無併合、無償金、民族自決の原則で即時に講話交渉を始めるように呼びかけたんだよね。

青木：東部戦線の崩壊を恐れたイギリス、フランス、アメリカなどは、レーニンの布告に対抗して、戦争の目的や戦後処理の方向を示すために「14カ条の平和原則」を打ち出した。この「14カ条の平和原則」でも民族自決の考え方が盛り込まれていたんだ。これによって第一次世界大戦に民主的な決定権を奪われている民族を解放するという大義名分が与えられることになった。

馬場：同じ考え方なのに一方では停戦のための理由として、他方では戦争をするための
①理由として使われたのは不思議だね。

青木：結局、第一次世界大戦は協商国側が勝利して、パリ講和会議では民族自決の考え方にしたがってドイツやロシア、オーストリアに支配されていたヨーロッパの諸民族の独立が認められた。

馬場：でも、すべての民族が独立できたわけではなかったんだよね。そもそも、民族自決の考え方はアジアやアフリカには適用されなかったし、オスマン帝国や旧ドイツ領だった地域は、委任統治とされたんだね。

青木：そうだね。列強各国は開戦前後に第一次世界大戦への協力を取り付けるために植
②民地に自治や独立の支援を約束し、戦争遂行を担った植民地の人々は政治的自覚
③

を高めていた。また、民族自決の考え方が示されたことから、植民地支配が終わるという期待も高まっていたんだ。

馬場：会議を見守っていた植民地の人々はガッカリしただろうね。だから、その後アジア・^④アフリカの植民地の人々は民族自決という原則を掲げて、民族運動をすることになったんだね。

青木：やがて、第二次世界大戦が始まると、戦場となったヨーロッパ各国は疲弊し、植民地体制も弱体化していった。一方で、第二次世界大戦ではアジア・太平洋地域も主戦場の1つとなったため、アジア諸国は欧米諸国や日本に抵抗する運動を行い、ナショナリズムを高めていった。^⑤

馬場：そうした背景から、第二次世界大戦後に、旧植民地の多くが独立していったんだね。

設 問

1. 下線部①に関連して、馬場さんは「平和に関する布告」が出された背景に興味をもち、その背景と結果を次のようにノートにまとめた。ノート中の空欄 には後の記述 a か b, 空欄 には c か d のいずれかが当てはまる。空欄 ・ に当てはまる語句の組み合わせとして適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。

ノート

1 背景

- 近代化の遅れていた帝政ロシアでは、戦争が長引くにしたがって戦況が悪化した。
- 食料や燃料不足から、兵士や労働者によるストライキや暴動に発展し、各地に労働者と兵士の が結成された。
- 二月(三月)革命により、ニコライ2世が退位したが、臨時政府は戦争継続路線を取った。
- 1917年にボリシェビキのレーニンが亡命先から帰国し、帝国主義の打破と社会主義社会の建設を掲げ、戦争の終結と臨時政府への対抗を呼び掛けた。
- ボリシェビキは、臨時政府を打倒して政権を得たが(十月革命)、革命後間もない政権は、戦争の継続が困難で、講和する必要があった。

2 結果

- 平和に関する布告は、交戦国から無視され、即時講和は行われなかった。
- 1918年に単独講和に踏み切り、ドイツと を結び、広大な領土の放棄や償金と引き換えに、第一次世界大戦から離脱した。これらの領土は、ドイツに占領されたが、大戦後に独立が認められた。
- 首都を内陸の安全なモスクワに移し、革命の完成に注力した。

Xに当てはまる語句

- a. エスエル
- b. ソヴィエト

Yに当てはまる語句

- c. サイクス・ピコ協定
- d. プレスト=リトフスク条約

ア. X-a Y-c イ. X-a Y-d ウ. X-b Y-c エ. X-b Y-d

2. 下線部②に関連して、委任統治の背景となった考え方と第一次世界大戦後に日本の委任統治領となった地域の組み合わせとして適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。

委任統治の背景となった考え方

- a. 対象地域は政治的に遅れているので、自治や独立を直ちに認めることはできず、長期にわたり統治を先進国に委ねる必要がある。
- b. 国際連盟の指導監督のもと、自立能力の不十分な地域について、先進国がその自治・独立に向けた支援を行う必要がある。

日本の委任統治となった地域

- c. ドイツの植民地であった赤道以北の南洋諸島
- d. オスマン帝国の統治下にあったアラブ地域

ア. aとc イ. aとd ウ. bとc エ. bとd

3. 下線部③に関連して、次の資料1、資料2は、いずれも、第一次世界大戦中にイギリスが民族の独立や支援の約束をした際の文書の一部である（なお、資料には表記をあらためた箇所がある）。これらの資料の説明として適切でないものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 3

資料1

イギリスが同盟国であるフランスの利益を損なうことなしに自由に活動できる境界線内にある地域においては、私は英国政府の名の下で次のとおりの保証および貴書簡への返答を与える権限を有しております。すなわち、

- (1) イギリスは一定の修正を加えて、メッカのシャリーフ〔フセイン〕によって要求されている範囲内すべての地域におけるアラブ人の独立を認め、それを支援する用意がある。
- (2) イギリスは外国からのすべての侵略に対して聖地を保全し、その不可侵性を承認する。……

資料2

私は国王陛下の政府を代表いたしまして、ユダヤ人シオニスト諸氏の大望に共感を示す以下の宣言を、閣議の同意を得て貴下にお伝えすることができて非常に悦ばしく思っております。

「国王陛下の政府はパレスチナにおいてユダヤ人のための民族的郷土(National Home)を設立することを好ましいと考えており、この目的の達成を円滑にするために最善の努力をおこなうつもりです。また、パレスチナに現存する非ユダヤ人諸コミュニティの市民および信仰者としての諸権利、ならびに他のあらゆる国でユダヤ人が享受している諸権利および政治的地位が侵害されることは決してなされることはない」と明確に理解されています。」

貴下がこの宣言をシオニスト連盟にお知らせいただけましたならば光栄に存じます。

- ア. 資料1は、オスマン帝国に対する反乱の見返りとしてアラブ人に戦後の独立を約束したものである。
- イ. 資料1の聖地とはイスラム教の聖地であるバグダードのことを指している。
- ウ. 資料2の「ユダヤ人のための民族的郷土(National Home)」は、ユダヤ人国家のことだと解釈された。
- エ. 資料1と資料2の内容は、矛盾しており、現代まで続く深刻な紛争が生まれる原因となった。
4. 下線部④に関連して、第一次世界大戦後から1920年代までのアジアでの民族運動に関する記述として適切でないものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。 4
- ア. オランダ支配下のインドネシアでは、大戦後にインドネシア共産党が結成され、独立をとなえて武装蜂起したが、オランダに弾圧された。1927年にインドネシア国民党が結成され、翌年大統領になったスカルノが独立を宣言した。
- イ. 中国は、パリ講和条約で、二十一カ条の要求で日本から認めさせられた山東省の権益の返還を求めたが、列国によって退けられたため、1919年5月に北京で行われたデモをきっかけに、条約反対や日本商品の排斥を訴える運動が広がった。この運動の影響もあり、中国代表団はヴェルサイユ条約に調印しなかった。
- ウ. インドでは1919年にインド統治法が制定されたが、州行政の一部をインド人に委ねたのみであった。また、同年に令状なしの逮捕や裁判なしの投獄を認めるローラット法が制定され、民衆の激しい反発を招いた。これに対し、ガンディーが民衆の指導者となり、非協力運動の方針を示し、大衆的な非暴力の民族運動を掲げた。
- エ. 日本の支配が続く朝鮮では、独立運動が活発化し、1919年3月に「独立万歳」を唱えるデモが始まり全土に広がった。朝鮮総督府は運動を徹底的に弾圧したが、この運動に衝撃を受けて、武断政治をゆるめて「文化政策」と呼ばれる同化政策に転換した。

5. 下線部⑤に関連して、青木さんと馬場さんは資料3に基づいて日本の占領地域で抵抗運動が起こった背景について議論している（なお、資料には表記をあらためた箇所がある）。次の会話文中の空欄〔X〕には後の記述 a か b、空欄〔Y〕には c か d、のいずれかが当てはまる。空欄〔X〕・〔Y〕に当てはまる語句の組み合わせとして適切なものを、選択肢から1つ選び、その記号をマークしなさい。〔5〕

資料3

然ルニ英米ハ自国ノ繁栄ノ為ニハ他国家他民族ヲ抑圧シ特ニ大東亜ニ対シテハ飽クナキ侵略搾取ヲ行ヒ大東亜隷属化ノ野望ヲ違ウシ遂ニハ大東亜ノ安定ヲ根柢ヨリ覆サントセリ大東亜戦争ノ原因ハ茲ニ存ス

大東亜各国ハ相提携シテ大東亜戦争ヲ完遂シ大東亜ヲ英米ノ桎梏ヨリ開放シテ其ノ自存自衛ヲ全ウシ左ノ綱領ニ基キ大東亜ヲ建設シ以テ世界平和ノ確立ニ寄与センコトヲ期ス

一、大東亜各国ハ協同シテ大東亜ノ安定ヲ確保シ道義ニ基ク共存共栄ノ秩序ヲ建設ス

一、大東亜各国ハ相互ニ自主独立ヲ尊重シ互助敦睦ノ実ヲ挙ゲ大東亜ノ和親ヲ確立ス

……

青木：資料3は、1943年に、日本の占領下にあった地域の代表者を招いて行われた大東亜会議で発表された共同宣言だね。

馬場：日本は、アジアを英米の植民地支配から解放して、〔X〕を建設することを戦争の目的としたんだね。宣言では各国に自主独立も認めているから、欧米の植民地となっていた国々にとっては歓迎できる内容ともいえる。

青木：表面的にはそう見えるね。だから、アメリカ・イギリス・中国は、この宣言に対抗するため、同じ年に〔Y〕を開いて満州や台湾の中国への返還、朝鮮の独立などの対日戦争方針を示したんだ。

馬場：だけど、日本の占領地域では、労働のための強制動員や資源の収奪が行われ、現地の文化や生活様式を無視して、日本語学習や天皇崇拜・神社参拝の強要がされた。実態は民族自決とはかけ離れたものだったんだね。

青木：結局、〔X〕は日本の侵略政策を正当化するスローガンにすぎなかったといえるね。

Xに当てはまる語句

- a. 大東亜共栄圏
- b. 大日本帝国

Yに当てはまる語句

- c. ヤルタ会談
- d. カイロ会談

ア. X-a Y-c

イ. X-a Y-d

ウ. X-b Y-c

エ. X-b Y-d

【Ⅱ】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

15世紀末以降、世界の諸地域は交易を通じて結びつき、「世界の一体化」が始まった。

アジアにおいては、例えば中国の明は、対外関係において民間人の海上交易は許さず、^①政府の管理の下で周辺諸地域と朝貢貿易を推進した。琉球は明との朝貢貿易によって東シナ海と南シナ海を結ぶ交易の要となった。また、明の重要な朝貢国であった朝鮮は、明の^②制度にならった改革を行った。[6]の黎朝も、明と朝貢関係を結び、明の制度を取り入れた。日本では、遣唐使以来とだえていた中国への正式な使節派遣が復活し、室町幕府の足利義満は、15世紀初めに明から「日本国王」に封ぜられて[7]を始めた。

しかし、16世紀半ばになると、北方のモンゴルや東南沿岸の倭寇の活動が激化して明を苦しめた。そのため明は、従来の交易統制政策や、海禁を緩め民間人の海上交易を許した。その結果、民間交易が活発化し、明の権威は弱まっていった。

また、16世紀にヨーロッパの諸国は、ポルトガルやスペインを先頭に大西洋に乗り出して、アジア航路を開拓した。^③さらに南北アメリカ大陸にも到達し、この地を征服することになった。^④ポルトガルのヴァスコ＝ダ＝ガマは[8]に到達し、ヨーロッパからアフリカ南端を回る航路が開かれた。ポルトガルに後れを取ったスペインも、大西洋を横断してアジアに向かうトスカネリの地球球体説に基づく[9]の計画を後援し、1492年にカリブ海の島に到着した。さらに、スペインの征服者たちは中南米へ上陸して先住民の豊かな財宝を知ると、それらを略奪し、いくつかの王国を滅ぼした。^⑤メキシコなどで銀山が発見されると、採掘のために先住民を強制労働させることもあった。^⑥こうした過酷な支配や疫病によって先住民が激減したことから、入植者に土地を与えて農業開発を進めた。その労働力としてアフリカから黒人が奴隷として運び込まれた。

このように、この時代、ヨーロッパ勢力はアジアだけでなく、中南米などにも進出して大陸を超えた交易・交流が活発化した。

設 問

1. 空欄 ～ に入る語として適切なものを，選択肢からそれぞれ1つずつ選び，その記号をマークしなさい。

ア. モンゴル イ. マラッカ ウ. ベトナム エ. タイ

ア. 三角貿易 イ. 勘合貿易 ウ. 南蛮貿易 エ. 朱印船貿易

ア. インド イ. 喜望峰 ウ. マカオ エ. 種子島

ア. マルコ＝ポーロ イ. ガボット
ウ. マゼラン エ. コロンブス

2. 下線部 ① に関連して，明朝の説明として適切なものを，選択肢の中から1つ選び，その記号をマークしなさい。

ア. 明朝を建てた洪武帝は，皇帝に権力を集中させたほか，里甲制を実施し，民衆教化のために六諭を定め，農村の末端にまで統制を及ぼした。

イ. 洪武帝は，陽明学を官学として科挙を整備し，唐の律・令にならって明律・明令を制定した。

ウ. 洪武帝の死後，靖難の役を経て帝位についた永楽帝は，南京に都を移し，モンゴル高原に遠征するなど積極的な対外政策を行った。

エ. 明では海外から銀が流入したことにより銀が主要な貨幣となり，各種の税や労役を銀に一本化して納入する地丁銀制が実施された。

3. 下線部②に関連して、朝鮮の説明として適切でないものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 11

ア. 紅巾の乱で元朝支配が危機に瀕すると、朝鮮半島では親元派と反元派の対立が起こったが、倭寇を破って名声を高めた李成桂が、新羅を倒して朝鮮王朝を建てた。

イ. 朝鮮王朝の首都は、漢城に建てられた。

ウ. 明と同じく科挙を整備し、儒教を柱とした国家の基礎を築いたが、両班と言われる有力な家柄が官僚の大部分を占めるようになり、政治上の実権をめぐり党争が繰り広げられた。

エ. 世宗の時代には訓明正音(ハングル)の制定など文化事業が行われた。

4. 下線部③に関連して、16・17世紀の明とその周辺地域の説明として適切なものを、選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 12

ア. 16世紀末に、ヌルハチが女真の統一に成功し、1616年に建国して国号を清とした。

イ. ヌルハチは、八旗の編成や満州文字の制作など独自の国家建設を進めた。

ウ. ヌルハチの跡を継いだフリンは、1626年に皇帝に即位したが、ヌルハチの建国方針である八旗の長の合議で重要事項を決定する政治体制を引き継いだ。

エ. 明は、魏忠賢の反乱軍到北京を占領されて滅亡した。

5. 下線部④に関連して、ヨーロッパの海洋進出の説明として適切でないものを、
選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 13

ア. アメリゴ＝ヴェスプッチは、アメリカ大陸をアジアではなく、未知の「新世界」であると主張して、その名はアメリカという地名の呼び名の起源となった。

イ. ヨーロッパの海洋進出をリードしたポルトガルとスペインは、互いの勢力圏を定めるためにトルデシリャス条約を締結した。

ウ. スペインの探検家であるバルボアは、南北アメリカが地続きであることを確認し、ヨーロッパ人としては初めて太平洋にも到達した。

エ. スペインは、フェリペ2世にちなんで命名されたフィリピンのマニラを拠点に、ガレー船を用いて太平洋を横断する交易ルートを開いた。

6. 下線部⑤に関連して、征服者たちは、財宝を奪いつくした後、王室の許可を受けて、キリスト教布教の義務と引き換えに先住民を使役し、彼らに貢納・賦役を課した。このようなラテンアメリカにおける植民地の経営形態の名称として適切なものを、
選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 14

ア. エンコミエンダ

イ. コンキスタドール

ウ. プランテーション

エ. アシエンダ

7. 下線部⑥に関連して、ペルーでインカ帝国を滅ぼした人物として適切なものを、
選択肢の中から1つ選び、その記号をマークしなさい。 15

ア. コルテス

イ. カブラル

ウ. エンリケ

エ. ピサロ

【Ⅲ】「18・19世紀のヨーロッパ、アメリカの状況」について、次の各文の空欄 16 ～ 25 に入る語として適切なものを、選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号をマークしなさい。

1. 18世紀に起こった産業革命では産業の機械化が進められたが、このときの主要なエネルギー源は 16 であった。

ア. 水力 イ. 石炭 ウ. 石油 エ. 風力

2. 17 は、トマス＝ニューコメンが発明していた蒸気機関を1769年に改良して産業革命の進展に寄与した。

ア. ジョージ＝スティーブンソン イ. ロバート＝フルトン
ウ. チャールズ＝パーソンズ エ. ジェームズ＝ワット

3. 産業革命によりイギリスで大量生産ができるようになると、工場制機械工業によって生産された 18 の販売市場と原料の供給地が必要となった。このためイギリスは東インド会社を通じて、インドの植民地化を進めた。

ア. 窒素肥料 イ. 毛織物 ウ. 鉄製品 エ. 綿製品

4. イギリスは中国から大量の茶を輸入して生じていた莫大な貿易赤字を解消するため、植民地となっていたインドに 19 の栽培を奨励して中国への輸出を行い、三角貿易を展開した。

ア. アヘン イ. コショウ ウ. トウモロコシ エ. ジュート(黄麻)

5. アメリカでは、17世紀にイギリスとフランスが入植を進めていたが、ヨーロッパで18世紀半ばに発生した七年戦争に連動して起こった 20 でフランスが敗北したことにより、アメリカにおけるイギリスの支配が進んだ。

ア. 南北戦争

イ. アメリカ＝メキシコ戦争

ウ. フレンチ＝インディアン戦争

エ. 第3次カーナティック戦争

6. 七年戦争で巨額の財政赤字を抱えたイギリス政府は、アメリカ植民地に対して砂糖法(1764年)、21(1765年)、タウンゼント諸法(1767年)を導入して課税を強化した。これに対して、アメリカ植民地は「代表なければ課税なし」と主張して課税に対する反対運動が展開された。

ア. 印紙法

イ. 窓税法

ウ. トランプ法

エ. 犬保有税法

7. アメリカ植民地では、1767年のタウンゼント諸法により茶の輸入に課税された。これに対してアメリカ植民地では課税回避のためにオランダからの茶の密貿易が行われるようになった。そこで、イギリス政府は1773年4月に茶法を制定して、東インド会社による茶の直送と独占販売権を認めた。アメリカ植民地では商品市場における東インド会社の独占につながるとして反対運動がおこり、1774年12月に22が発生した。この結果、アメリカ植民地独立の声が高まった。

ア. ウォーターゲート事件

イ. ドレフェス事件

ウ. サンフェリペ号事件

エ. ボストン茶会事件

8. 1775年から始まったアメリカ独立戦争は、当初はイギリス人としての権利を主張するもので独立を求めるものではなかった。しかし、トマス＝ペインの『コモン＝センス』などにより世論が独立に傾くと、アメリカ13植民地は、1776年7月4日に [23] らが起草したアメリカ独立宣言を採択した。

ア. ジョージ＝ワシントン

イ. トマス＝ジェファソン

ウ. エイブラハム＝リンカン

エ. フレデリック＝ノース

9. アメリカ独立戦争は、当初はイギリスが優位に戦いを進めたが、ベンジャミン＝フランクリンなどの交渉により [24] やスペインが参戦し、ロシアが武装中立同盟を結成すると戦況は変わった。1781年にヨークタウンの戦いでイギリス軍が降伏すると、アメリカ独立戦争は実質的に終結した。

ア. フランス

イ. プロイセン

ウ. オーストリア

エ. ポルトガル

10. 独立したアメリカ合衆国は、当初は旧13植民地が主権をもつ連合国家だったが、財政的困難を背景に中央政府の樹立が求められるようになった。1787年にはアメリカ連合規約に代えてアメリカ合衆国憲法が成立して、中央に連邦政府が設置された。新たに発足した連邦政府では、立法権を連邦議会が、行政権を [25]、司法権を連邦最高裁判所が担うこととなり、完全な三権分立の国家として出発した。

ア. 国王

イ. 内閣

ウ. 大統領

エ. 連合会議

(問題終わり)